

船室について

- 全室シャワー・トイレ・冷蔵庫完備です。
- 船室は、上段ベッド付きとなる場合がございます。指定はお受けできません。
- A1、A2、A3、A4、Bクラスのお一人様利用は、ご旅行代金の200%となります。D1、D2は180%です。
- A1、A2、A3、A4、B、D1クラスは、洗浄機能付きトイレを完備しています。
- C1、G1、Mクラスの01室申し込みでは、洗浄機能付きトイレのオプション申込が可能です（有料）。
- A1、A2、A3、A4、Bクラスのソファは、ソファベットとしてもご利用いただけます。
- A1、A2、A3、A4クラスは船室指定が可能です（船室指定後に旅行契約を解除なる場合、船室指定取消料として旅行代金の5%を申し受けます。ただし、90日前以降は旅行条件記載の取消料に準じます）。
- お得な年齢割引もご利用ください！大人1名につき未成年1名を無料（詳しくは弊社までお問い合わせください）。
- 相部屋申し込みのお客様はシャワー、トイレ、ロッカー、その他の設備は同室者と共有です。
- セミシングルタイプ、フ렌リタイプを除くは、船室内をカーテンで区切り、プライベート空間を提供するコンパクトタイプです。
- 旅行開始時13歳未満（中学生を除く）のお子様連れは泊まりはお受けできません。
- フレンドリータイプの船室は、2段ベッドの下段指定が可能です（有料）。ベッド下のスペースは同室者と共有です。

ビザ（査証）取得について

- クルーズに必要なビザ（査証）は、弊社にて取得手続きの代行をいたします。（有料）
- 参加いただくオプショナルツアーによっては、ビザ取得のための追加代金や追加書類をご提出いただく場合があります。
- 本パンフレット記載のビザ取得代金は日本国籍の方の代金です。日本国籍以外の方もお気軽にお問い合わせください。
- 米国入国には、ESTA（米国電子渡航認証システム）の事前取得が義務づけられています。（有料：40.27米ドル）
- 英国入国には、ETA（電子渡航認証）の事前取得が義務づけられています。（有料：20英ポンド）
- シェンゲン協定により、ご出発前のシェンゲン加盟国への旅行日数によって、当クルーズに参加いただけない場合がございます。
- 2026年より欧州渡航情報認証制度（ETIAS）の導入が予定されています。

海外旅行保険への加入が必須です

ご旅行中に疾病や事故などの事象に遭遇し、思いもよらない高額な治療費用や救護者費用などが発生した場合、法律上これらの費用は全てお客様個人のご負担となります。このような事態に備えるため、旅行期間のすべてがカバーされた海外旅行保険へ必ずご加入ください。海外旅行保険に加入されない場合、本旅行への参加をお断りする場合がございますので、予めご了承ください。

旅行変更費用補償特約の同時加入をおすすめします

クルーズの取消料はご出発の90日前から発生しますので、ご自身はもとより、ご家族・ご親戚の病気・事故などでご旅行をキャンセルしなければならぬ場合に備えて「旅行変更費用補償特約」に加入することをおすすめします。

海外安全情報

外務省の治安に関する海外安全情報および下記の通り危険情報が発出されておりますが、現地手配会社、関係省庁、船舶代理店などから最新情報を得て、当社が安全と確認した上で本旅行をを行いました。

「レベル1」：十分注意してください

香港、コロンボ、ポートサイド、イスタンブール、コロ、カヤオ、イースター島

尚、現地の治安および感染症など海外の安全に関する情報は、お客様自身でも確認していただきますようお願いいたします。

旅行代金一覧（単位：円）

		※いずれも大人お一人様旅行代金です									
船室クラス	バルコニー/窓	フロア	ベア （2人部屋）	相部屋可	シングル （1人部屋）	セミシングル （2人相部屋）	フ렌リ （3～4人相部屋）				
オーナズスイート	バルコニー付	9-10	A1	15,050,000	—	—	—	—	—	—	—
ベントハウススイート		8	A2	11,400,000	—	—	—	—	—	—	—
プレミアムスイート		9-10	A3	9,600,000	—	—	—	—	—	—	—
スイート		8	A4	9,000,000	—	—	—	—	—	—	—
ジュニアスイート		10	B	7,560,000	—	—	—	—	—	—	—
バルコニーI	窓あり	10-12	C1	4,900,000	○	L	9,310,000	—	—	—	—
バルコニーII		9	C2	4,760,000	○	J	9,044,000	—	—	—	—
アウトサイドワイド		9-11	D1	4,000,000	○	—	—	—	—	—	—
アウトサイドビュー		8	D2	3,920,000	○	—	—	—	—	—	—
アウトサイドI		8	E	3,640,000	○	K	6,552,000	E2	3,740,000	—	—
アウトサイドII	窓なし	5-6	F	3,500,000	○	L	6,300,000	F2	3,600,000	F4	4名 2,800,000
スタンダードインサイドI		8-11	G	2,860,000	○	M	5,148,000	G2	2,960,000	G3	3名 2,223,000
スタンダードインサイドII		5-6	H	2,470,000	○	N	4,446,000	H2	2,570,000	H4	4名 1,980,000

※フレンリタイプは、出航時75歳未満のお客様限定です

旅行条件（要旨）-詳しい旅行条件書をお渡しいたしますので、内容をご確認のうえお申し込みください-

本旅行条件書は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書面および同法第12条の5に定める契約書面の一部となります。

1. 募集型企画旅行契約

本旅行はNGOピースボートがコーディネートし、株式会社ジャパングレイス（以下「当社」といいます）が企画・実施する旅行です。本旅行に参加されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」といいます）を締結することになります。

2. 旅行のお申し込み

当社所定の旅行申込書に所定の事項を記入のうえ、申込金として旅行代金の5%にあたる金額（別紙参照）を添えてお申し込みください。当社が申込金の受領確認が出来た時点で正式なお申し込みとなります。

3. 旅行代金に含まれるもの

①旅行日程に明記した船舶の運賃 ②船内宿泊（ご請求書に記載された船室クラス）、船内イベント（一部有料あり）の代金 ③明示した食事回数の料金 ④船舶による手荷物運搬料金 ⑤添乗員の同行費

4. 旅行代金に含まれないもの（上記3項のほかは旅行代金に含まれません。その一部を以下に列示いたします。）

①オプショナルツアーの代金 ②船室クラス変更による追加代金 ③渡航手続費用（ビザ代・渡航手続代行手数料・予防接種料金等） ④船内のチップ ⑤ポートチャージ（港湾施設使用料等） ⑥国際観光客税 ⑦海外旅行保険料、電話代、飲み物代などの個人的費用 ⑧超過手荷物料金 ⑨ご自宅から発着地までの交通費・宿泊費・手荷物運搬費 ⑩船舶のフューエル（燃油）サーチャージ ⑪船舶に課せられるEU-ETS・FuelEU Maritime・GFI 等、環境規制対応費（環境対応サーチャージ） ⑫訪問する国や自治体等により課される環境保全税・観光税・オーバーツーリズム対策税

5. 旅行代金のお支払い

①旅行開始日の前日から起算してさかのぼって60日目にあたる日以降の当社の定める日までに入金金を除いた旅行代金及び諸費用等をお支払いください。②お申込金は使用客船の貸切代金の一部に使用いたします。

6. 特別補償

当社はお客様が企画旅行中に、急激かつ偶然な外来の事故により被られた一定の損害についてあらかじめ定める額の補償金および見舞金を支払います。フリートラベルの期間は、特別補償規程第2条2項に定める無事配りとなります。

7. 取消料

お客様は次に定める取消料をお支払いいただくことにより、いつでも旅行契約を解除することができます。

	取消日	取消料
	91日前まで	無料
旅行開始日の前日から 航行してさかのぼって	90日前以降60日前まで	旅行代金の5%
	59日前以降29日前まで	旅行代金の50%
	28日前以降15日前まで	旅行代金の80%
	14日前以降	旅行代金の100%

本旅行の使用客船は貸切船舶によるものであり、いかなる理由であれ、旅行開始後の船舶に係る旅行代金の払い戻しはありません。

8. その他

①クルーズにご参加の場合は、海外旅行保険にご加入されることを必須といたします。②旅行条件に定めない事項は当社旅行契約「募集型企画旅行契約の部」によります。なお、当社約款は当社ウェブサイトよりご覧いただけます。

このパンフレット記載内容は2026年4月10日を基準としています。

別途諸費用（単位：円）

※2026年4月10日現在の金額です

チップ合計	183,120
ポートチャージ合計	70,840
ビザ取得代金合計	43,000
国際観光旅客税	3,000

- 最少催行人員：1,000名
- 船中泊
- 日本人添乗員が同行します
- 食料：朝107回、昼107回、夕107回
- 医師、看護師が乗船します
- 使用客船：パシフィック・ワールド号（総トン数：77,441トン/全長：261.3メートル/全幅：32.25メートル/喫水：8.1メートル/乗客定員：2,419名/運航会社：シーホークコーポレーションリミテッド（イングランド））

旅行企画・実施 株式会社ジャパングレイス（観光庁長官登録旅行業 第617号）

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-32-13
www.japangrace.com

一般社団法人日本旅行業協会正会員 旅行業公正取引協議会会員

振込口座 口座名義はいずれも (株) ジャパングレイス	三菱UFJ銀行 高田馬場支店 普通 1211859	三井住友銀行 高田馬場支店 普通 9103064	みずほ銀行 高田馬場支店 普通 1991082
-----------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	-------------------------------

Coordinated by ピースボート 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1-01

TEL: 03-3363-7561 / FAX: 03-3363-7562 www.peaceboat.org

PHOTO: PEACEBOAT、上野隆文、片岡和志、千賀健史、中村亮、水本俊也、桃井和馬、汰木志保、吉田タイスケ、

ソー写真グッド株式会社、Nancy Roberts、Adobe Stock、shutterstock.com



2030年までに日本のクルーズ人口100万人の達成に向けたキャンペーンに参加しています。



【プライバシーポリシー】
株式会社ジャパングレイスでは、お客様からご提供いただく個人情報の取り扱いについて、ウェブサイトにてご案内しております。
https://www.pbcruise.jp/privacy/

V127-E

地中海・中南米・南太平洋コース

2027年8月 Voyage127

横浜発着109日間

2027.8.13(金)～11.29(月)

神戸発着109日間

2027.8.14(土)～11.30(火)



この船旅は、ロマンに満ちた物語



パシフィック・ワールド号でゆく ピースボート地球一周の船旅

旅行企画・実施 株式会社ジャパングレイス

The Amazing Aurora

世界一周クルーズの途中で、
オーロラ鑑賞という特別な経験をあなたに

旅から持ち帰れる
一番大きなものは思い出

アイスランドのオーロラベルト圏内に入ると、「5夜連続のオーロラ鑑賞のチャンス」がはじまる。周囲には街灯もなく真っ暗な海上、キーンと澄んだ夜の空気に満点の星空に期待が膨らむ。360度を見渡しながらのオーロラ鑑賞は、どの方向にオーロラが出現しても船が追いかけてくれるからオーロラに向かって突き進んでいく感覚だ。
さあ、今夜もオーロラハントがはじまる。

PEACEBOAT CRUISE

2027.8 Voyage127

P4-13

EUROPE

SEEKING A SPECTACULAR VIEW WITH A STORY

- 物語のある絶景を求めて 広い地球のヨーロッパ世界へ
- オリент急行と大陸横断鉄道の終着駅
- 海から訪れる世界遺産
- 地中海にアートを追って
- ビースポート大航海時代は続く

P14-17

7 WORDS TO ENJOY YOUR PEACE BOAT VOYAGE

- ビースポートの世界一周をもっと楽しむ7つのキーワード

P18-19

DESTINATIONS & PORTS

- 世界一周クルーズの旅 全寄港地一覧

2024年10月 ビースポートクルーズ船上にて撮影



現在航行中の
クルーズレポートを
公開中

特設ページへ！

REYKJAVIK
レイキャビク

P12「ビースポート大航海時代は続く」



BELFAST
ベルファスト

LIVERPOOL
リヴァプール



物語のある絶景を求めて 広い地球のヨーロッパ世界へ

遥か昔、アルファベットの元となる文字を生み出したフェニキア人たちは、この湖に船を浮かべ自在に操り、沿岸にいくつも都市を築いていった。やがてエゲ海ではギリシャ文明が花を咲かせ、その後継者を自認したローマ帝国が、文字通り地中海を「われらの海」とした。その大帝国も滅び去り、イベリア半島・北アフリカ・小アジア（トルコ）にイスラム文明が浸透。地中海世界は東西文明の十字路の色彩を濃くしていく。そして千年余の歴史を有するビザンティン帝国の悠久の都コンスタンティノープル（イスタンブール）がオスマン帝国によって陥落。イベリア半島からいち早くイスラム勢力を駆逐したポルトガルは、オスマン帝国にふさがれたアジアへの道を、大西洋に求めることとなる。

彼らはアフリカおよびインド、ついにはユーラシア大陸の東の果てに浮かぶ日本に到達する大航海時代を出現させた。文明の興亡と、異文化の衝突そして融合。地中海という湖を舞台としてみえくめく歴史絵巻は、偉大な芸術を育み、魅力的な文学や映画を生んだ。地中海世界の歩みは、ヨーロッパのいまを考えるうえで、どうしても避けて通ることはできない。それは、我々が暮らす東洋に与えた影響についても、同じことが言えるだろう。憧れの景色に出会い、そして豊かな歴史に想いを馳せたい。それでは、地中海という大きな湖にフェニキア人のように船を浮かべ、自由に漕ぎ出してみようではないか。



Europe

Seeking a Spectacular View With a Story

P10「地中海にアートを追って」

BARCELONA
バルセロナ

TARRAGONA
タラゴナ

P8「海から訪れる世界遺産」

P6「オリエント急行と大陸横断鉄道の終着駅」

LISBON
リスボン

CIVITAVECCHIA
チビタベッキア

ROME
ローマ

P8「海から訪れる世界遺産」

P10「地中海にアートを追って」

P6「オリエント急行と大陸横断鉄道の終着駅」

P10「地中海にアートを追って」

ISTANBUL
イスタンブール

P8「海から訪れる世界遺産」

PIRAEUS
ピレウス

ATHENS
アテネ

VALLETTA
バレッタ

P8「海から訪れる世界遺産」

SANTORINI
サントリーニ島

PORT SAID
ポートサイド

CAIRO
カイロ

P10「地中海にアートを追って」



① 人も野鳥も憩うチョルトン湖 / レイキャビク ② 路地裏には坂道を利用した素敵なレストランがいくつもある / アテネ ③ 美しい海に囲まれたマルタ島 / バレッタ ④ マルタストーンで作られた美しい城壁都市 / バレッタ ⑤ 現代の街中で古代の存在感を放つコロッセオ / ローマ ⑥ ビザンツ美術の傑作であるモザイク画も見られるアヤソフィヤ / イスタンブール ⑦ 歴史と豊かな水がある街並みが印象的 / イスタンブール ⑧ 情緒あふれる「7つの丘の街」を堪能 / リスボン ⑨ コロッセオの窓から街を望む / ローマ

Egypt



オリент急行と 大陸横断鉄道の終着駅

Terminus of the Orient Express and Transcontinental Railroad

アガサ・クリスティの小説で知られるオリент急行。パリを出た列車はイスタンブール・シルケジ駅に着いた。いっぽう、ユーラシア大陸を国際列車を乗り継ぎ横断すれば、その終点はリスボンのサンタ・アポロニア駅。2つの終着駅を船でつなぐ。



イスタンブール旧市街にあるシルケジ駅

歴史と陽光に包まれた 魅惑の街

テージュ川のほとりにあるリスボン港に入港すると、美しき街は目前だ。大航海時代の港があったコメルシオ広場から路面電車に乗って、当時の栄華の象徴・ジェロニモス修道院へ。河畔には“発見”のモニュメントが建ち、地面に世界地図とポルトガルによる発見年が記される。日本のそれは「1541」だ。優美な姿のペレンの塔の向こうにはテージュ川が豊かに水をたたえ、その先に「世界」へとつながる大西洋が広がっている。



1755年のリスボン大地震で壊れてしまった宮殿の跡地を利用して作られたコメルシオ広場。今日では地元の子どもたちが走る憩いの場であり、観光の中心地。



コメルシオ広場の回廊にある、詩人フェルナンド・ペソアが通った老舗カフェ「カフェ・マルティニョ・ダ・アルカード」で名物のイワシリルに舌鼓。



どこからともなく聞えてきたのは、ファドの歌声。哀愁にあふれた歌声と豊かな音楽表現のファドは、リスボンが発祥だ。その調べで、旅は一段と印象的なものになる。

イスタンブール



東西の架け橋 歴史と文化の交差点

オリент急行は1889年にパリ～イスタンブール間の直通運転を始め、翌年にはシルケジ駅がその終着駅として開業した。シルケジ駅の開業年に英国で生まれたのが、ミステリーの女王アガサ・クリスティ(1890～1976年)だ。1930年、彼女はオリент急行に乗って中東へ旅行。数度の乗車体験をもとに不朽の名作『オリент急行の殺人』(1934年)を発表したのだった。



猫や犬に寛容なトルコの人びと。とくにイスタンブールは「猫の都」と言われるほど、地域猫として愛され自由気ままに生活している。



イスラムの国からはじまった陶器タイル文化は、地中海の文化としてそれぞれの土地に根ざし現代に伝わる。



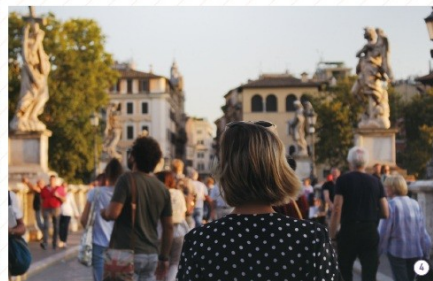
グランド・バザールは、1461年に「アヤソフィア」への収入源として建てられた歴史のあるバザール(市場)だ。

リスボン

海から訪れる 世界遺産

World Heritage

ギリシャ・ローマ古代遺跡の数々。それら世界遺産はアテネやローマはもちろん、タラゴナなど地中海沿岸の都市でも見ることができる。オスマン帝国からヨーロッパを守ったバレッタの街並みは海上からも望める。船旅の醍醐味がここにある。



① 朝日に照らされるフォロ・ロマーノ / ローマ ② 「永遠の都」のシンボル・コロッセオ / ローマ ③ タベルナが軒を連ねるアラカ地区 / アテネ ④ 絶景を求め世界中から観光客が訪れていた / ローマ ⑤ まるで海に浮かぶ城塞都市 / バレッタ ⑥ 剣闘士の戦いなどの興行が行われた円形闘技場 / タラゴナ ⑦ アクロポリスの丘の麓に流れる豊かな時間 / アテネ ⑧ 世界遺産の街に蹄の音が響く / バレッタ

地中海クルーズ。それは、古代地中海世界へのタイムスリップである。

アテネの古代アゴラに立つ。集会所の跡はかつてアテネ市民が買い物をし、議論を戦わせた場所。ここでは、古代人の息吹が感じられる。そしてアクロポリスの丘に上がって、ポリスの民のごとくバルテノン神殿を仰ぎ見る。

アテネに行けば、続けてローマを訪ねたくなる。地中海クルーズではギリシャからローマへと、年表に沿った古代世界の旅が気軽にできる。

古代ローマの中心地だったフォロ・ロマーノ。王政から共和政、帝政と都市国家から大帝国にいたる、さまざまな遺跡が混在する。ローマは一日にしてならず。しかしそれを一目で俯瞰できる遺跡である。円形闘技場コロッセオ、古代ローマの温泉施設

だったカラカラ浴場にも足をのびし、その壮大な威容からローマの栄光と「つわものどもが夢の跡」に想いを馳せる。ローマ文明の光は地中海各地にもおよんだ。それをよく示すのがタラゴナの旧市街だ。真っ青な地中海をバックにたたずむ円形闘技場の跡、古代遺跡が次々に現れる考古学の道、2頭馬車による競争が行われたシルク・ローマ。スペインに在ることを忘れそうになるほど、古代ローマ世界にどっぷり浸ることができる。

そして地中海の世界遺産で外せないのが、16世紀にローマ・カトリックの聖ヨハネ騎士団が築いた城塞都市バレッタ。地中海の覇者たらんとしたオスマン帝国の西進を食い止めた「ルネサンスの理想都市」で、海上からの眺めは見事の一言に尽きる。

船上に連なるヨーロッパ世界



フラメンコショー



マスカレードパーティ



ファド コンサート

ゆったりと次の港を目指して進むクルーズの船上では、さまざまなパーティやイベントが繰り広げられています。シアターでは寄港地関連の映画の上映、ファドアーティストによるコンサートやマスカレードパーティなど、クルーズライフと寄港地のシームレスな体験が待っています。



地中海に アートを追って

Art in The Mediterranean

地中海は美術の宝庫でもある。悠久の古代エジプト文明、オスマン帝国の首都イスタンブールにあふれるイスラム文化、イタリアに花開いたルネッサンス、そしてバルセロナのモデルニスモ建築群。アートの歴史をたどる船旅もまた興味深い。



1453年から約470年間、オスマン帝国の首都だったイスタンブール。そのため、イスラム文化が濃厚に漂う。世界遺産に登録された歴史地区にはアヤ・ソフィア、ブルー・モスク、トプカプ宮殿、スレイマニエ・モスクなどオスマン帝国の栄華を物語る、美術的にも価値の高い建築物が並ぶ。イスタンブール入港時に船上から眺める歴史地区の景観も、極めてフォトジェニックだ。

イスタンブール
トルコ

エジプト
ポルトサイド



カイロのエジプト考古学博物館にはツタンカーメン王の王墓から発掘された黄金のマスクをはじめ、古代エジプトの至宝が展示されていた。エジプトと言えばギザのピラミッド。この付近に、大エジプト博物館が2024年にプレオープン。エジプト考古学博物館の展示品も今後、こちらに移送される。これからはピラミッド観光とあわせた美術鑑賞ができるようになる。



イタリア
ローマ



ローマ市内に存在する世界最小の国家・バチカン市国。出入国は原則的に自由なので、ローマ観光がてら訪れることができる。「サン・ピエトロ広場」とつながる、サン・ピエトロ大聖堂の美しさは圧巻。設計には、ミケランジェロやベルニーニなどの巨匠たちが関わり、ルネサンス建築とバロック建築の両方の様式が融合した傑作と言われている。



バルセロナ
スペイン



バルセロナを中心としたカタルーニャ地方で、19世紀末から20世紀初めに流行したモデルニスモ建築。フランスの「アールヌーヴォー」という新芸術に類似した様式だ。なかでもアントニ・ガウディの作品はサグラダ・ファミリアをはじめ7つが世界遺産に登録されている。なお、1882年に着工されたサグラダ・ファミリアは、2026年に完成する予定。その姿もひとめ見てみたい。



アートの世界をもっと楽しむ



本場のアートをもっと深く知るために、船上ではさまざまなカルチャースクールをご用意しています。解説を読んだり、ガイドに質問をするための会話を促すため語学教室に通う方、経験豊富な画家が講師を務める水彩画教室に通う方など、好きなことを追求するのに適した環境が整っています。

ピースボート大航海時代は続く

Peace Boat Exploration Continues



ヨーロッパの西端。そこはどこか北米の香りがした。

ヨーロッパ最後の寄港地、レイキャビク。船上からハットルグリムス教会が見える。高さ74.5メートル。アイスランドで最も高い建造物だ。1945年から41年の歳月をかけ、1986年に完成した。教会前の広場に男性の銅像が建つ。彼はアイスランドのバイキング、レイフ・エリクソン。北米大陸を目にしたレイフ・エリクソンは上陸した土地をヴィンランドと命名した。西暦1000年のことである。大航海時代におけるコロンブスの北米大陸発見(1492年)より、約500年も前だ。

レイキャビクの街並みを見て、思ったことがある。この旅で訪れたイスタンブール。そこはまだヨーロッパというよりも中東の香りが濃厚だった。そのあとヨーロッパの寄港地をいくつも経てたどりついたレイキャビクは、これまで訪れたどの街とも明らかに違う。ここはすでに北米なのではないか。地図を見れば、その直感は決して荒唐無稽でないことがわかる。アイスランドのすぐ西方にはグリーンランド。ここは地理学上北アメリカ州の一部として分類されることもある。そしてグリーンランドの向こうは、カナダ。

世界和平への道が始まった場所。天空へ続く光は私たちの旅を照らす。

最後に訪れたのはホフディ・ハウス。1909年にフランス領事館として建てられた。ハットルグリムス教会が完成した1986年、ホフディ・ハウスでアメリカのレーガン大統領と旧ソ連のゴルバチョフ書記長による首脳会談が行われた。両者は中距離核兵器の削減に合意。それから3年後の1989年11月9日、ベルリンの壁が崩壊。その1か月後の12月2日、地中海マルタ島沖に浮かぶ旧ソ連客船マキシム・ゴリキー上で会談した米ソ首脳は「冷戦の終結」を宣言した。ホフディ・ハウスのそばにベルリンの壁の一部が設置されている。ドイツ再統一25周年を記念して、ベルリンの美術館から寄贈されたという。冷戦時代には冷酷な表情で、ここを越えよう

とした幾人もの命を絶ってきた壁。そこにはいま、カラフルなモアイ像が描かれている。国境のない世界を想像してごらん。「イマジン」でそう歌ったジョン・レノンの誕生日は10月9日。この日から、レイキャビクのイマジン・ピース・タワーから天空に一筋の光が放たれる。それはオーロラの夜空と相まって、とても幻想的だ。先住民との衝突を避けて去ったレイフ・エリクソンとは対照的に、コロンブスの「発見」はその後、さまざまな悲劇も引き起こしていく。「想像してごらん、全ての人たちが平和に暮らしているだけなんだ」と。イマジンの歌詞にある世界のように、ピースボートの大航海時代は続いていく。



① 港町の日常風景 ② レイフ・エリクソンは、「幸運なるレイフ」の異名を持つ ③ 希少なアイスランドドラム ④ アルシング国会議事堂前はピクニックスポットだった ⑤ イマジン・ピース・タワーとオーロラ、美しい光の共演 ※本クルーズ中にピース・タワーの点灯をご覧いただくことはできません ⑥ レイキャビクの海を背に建つホフディ・ハウス ⑦ アイスランド音楽のレコードとコーヒーが楽しめる 店名/BAD TASTE RECORD SHOP

ピースボートの 世界一周をもっと楽しむ 7つのキーワード

7 Words To Enjoy Your Peace Boat Voyage

いろいろな場所を訪れる「移動型」とリゾートなど同じ場所に長く腰を落ち着けて過ごす「滞り型」のいいとどりができる、「究極の船旅」と言われる世界一周クルーズ。1983年に第一回クルーズが出航して以来、これまでに9万人が乗船したピースボートクルーズの楽しみ方を、7つのキーワードでご紹介します。

快適
Comfort

かさばる荷物はゼロ
身軽で楽々な旅



出発時には自宅から船室まで、帰着時には港からご自宅まで。大きなお荷物は宅配便をご利用いただけます。旅の途中で荷物が増えても段ボールで宅配ができて安心。寄港地でのお買い物も気兼ねなく楽しめます。



大きな荷物は船室に置いたまま、今日の観光に必要なものだけをまとめて出発できます。身軽に観光ができるので安全性も高いです。



感動
Memories

4万kmの地球をまわる
100日の特別な思い出を



船が出航したその瞬間から、旅の時間はすべてあなたのもの。気の向くままに興味のあるイベントに参加をしたり、趣味に没頭したり、デッキでのんびりしたり——。クルーズの旅には、乗客の数だけ楽しみ方があります。

また、世界一周の旅路には、数え切れないほどの出会いがあります。バックグラウンドの異なる老若男女が集い、共にする約100日の旅は、特別な思い出にあふれる毎日になります。



いつか行ってみたいと夢見た、遥かなる世界遺産や憧れの絶景も、名も知らない港町も。船でゆっくりと旅するからこそ、数多くの素晴らしい景色に出会うことができます。感動の瞬間は連日訪れます。

食
Gourmet

食の楽しみの連続
世界の食文化も体験



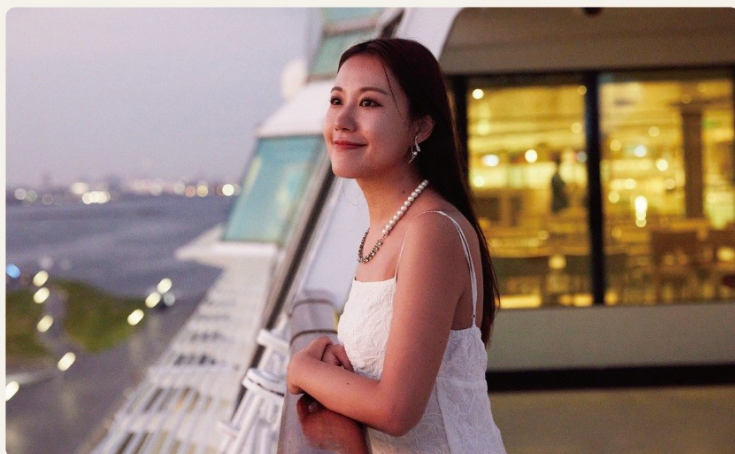
朝夕それぞれ表情の違う、世界中の海が眼下に広がる海に浮かぶレストランがあなたの日々のダイニング。家族や友人とテーブルを囲むそんな何気ないひとときを、本格的なコース料理でお楽しみください。自由に選べるビュッフェレストランもございます。



旅を通して世界各地の食文化を体験できるのは、世界一周クルーズだからこその贅沢な楽しみです。寄港地では各地のレストランやカフェ、ときにはルロットやホーカーなどその土地に根ざした屋台めしなど、その国が持つ魅力を最大限に楽しめます。

人生

「人生の次なるきっかけ」となる
たくさんさんのきらめき



それまでの日々を振り返り、未来を見つめる「人生のターニングポイント」が訪れたとき、旅は魅力的な選択肢のひとつ。訪れる寄港地での体験や人びととの出会い、ドラマチックな風景、開放感に満ちたクルーズライフで新しいことへ挑戦など、世界一周クルーズには人生の次なるきっかけが散りばめられています。



水彩画や社交ダンス、運動など、これまで忙しくてトライできなかったことにチャレンジするには最適な環境が船上にあります。旅でできた新習慣は、帰宅後も自然に継続できる方も多いようです。

楽しむ

毎日を彩る
さまざまなイベント



「クルーズ中、暇になったらどうしよう？」—そんな心配はご無用です。船上ミュージシャンによるLIVEやマスカレードパーティ、フラメンコショーなど、「船の上でも世界一周」をテーマに日々さまざまなイベントが繰り広げられています。どれも自由にご参加いただけます。



世界各地の港で多くの人が、ピースポートクルーズの訪れを待ち受け、次の港への旅立ちを見送ってくれます。横浜/神戸の出航時には、盛大な出航セレモニーを行い、記念すべき世界一周の旅の1ページを彩ります。



波の音をBGMに広大な海をゆっくりと進み、ある朝目覚めると、昨日までの大海原とは一転、祈りの声が響く港町の風景や天に舞うオーロラの世界がデッキの外に広がっている。この地球上で同じ時を刻んでいる「どこか」を訪れ、一期一会の出会いを繰り返しながら、地球をぐるっとめぐる壮大な旅です。点と点で存在していた憧れの場所が、一枚の絵のように感じられる体験は、世界一周クルーズならではの醍醐味です。



国連とパートナーシップを結び、SDGsの公式キャンペーン船として航海をしています。船上では、世界各国で活躍している各界の専門家や寄港先のNGO・NPOスタッフによるさまざまな講座に無料で参加することもできます。

地球

毎日が違う表情を見せる
地球のいまを知る旅



クルーズには、1,500名以上の国内外のお客様が乗船され、船内は多国籍な雰囲気。船内放送は日本語をはじめとした4言語対応。一方で、さまざまなシーンで日本語スタッフが対応しているので、外国語が不安な方もご安心ください。



ツアーは添乗員や通訳スタッフが同行するので、現地ガイドの話す観光ポイントも聞き逃すことはありません。言語が心配な方も日本語のみで世界中の観光地を楽しむことができます。

国際色

国際色豊かな
クルーズでの旅

「世界のいま」を感じる 世界一周クルーズの旅 全寄港地一覧

香港

高層ビルとネオン街が出迎える魅惑の都市。街の喧騒をBGMに、本場の飲食を楽しむ

シンガポール

いつ訪れても革新的で刺激的。旅人たちをとりこにする、異国情緒たっぷりの街歩き

**スリランカ
コロンボ**

交易都市が生んだ多様な文化に魅せられて、スパイス薫る地で堪能する食の楽しみ

**エジプト
ポートサイド**

憧れ続けた世界遺産が目の前に。未だ謎多きピラミッドが訪く、悠久の歴史にふれる

**ギリシャ
サントリーニ島**

広がる光景は、ただただロマンティック。この目に焼きつきたい青と白の絶景

**ギリシャ
ピレウス**

石畳を歩けば歴史が語りだす。西洋文明の源流を生み出した、先人たちが遺した街

**トルコ
イスタンブール**

旅先で出会う未知なる味。東西文明の交差点で、エキゾチックな雰囲気にとっぴり浸かる

**マルタ
バレッタ**

街のすべてが世界遺産！美しさと気品をたたえた、地中海の絶景の地マルタ島へ

**イタリア
チビタベッキア**

歴史の舞台は数知れず。訪れる誰もが心奪われる、永遠の都ローマをめぐるひととき

**スペイン
タラゴナ**

とっておきのスペイン料理に舌鼓。きらめく陽ざしが照らす、地中海に面した港町

**ポルトガル
リスボン**

旅情を誘う街並みに心ときめいて。トラムに揺られてめぐり、大航海時代の足跡

**英国
リバプール**

今も色褪せないメロディによって、世界的ロックバンド・ビートルズの軌跡を巡る街歩き

**英国
ベルファスト**

巨人が造ったという神秘的風景、世界遺産「ジャイアンツ・コーズウェイ」を訪ねて

**アイスランド
レイキャビク**

ダイナミックな自然とカラフルな街並み。世界最北の首都で感じる、地球のエネルギー

**米国
ニューヨーク**

入港シーンから見逃せない！憧れスポットが目白押しのエキサイティングな街

**パナマ
コロン**

大自然が生んだ美しい手仕事。伝統工芸を伝え継ぐ、熱帯の地に生きる先住民を訪ねて

**ペルー
カヤオ**

明かされることない歴史がロマンを誘う、急峻な山々に隠れた空中都市マチュピチュへ

**チリ
イースター島**

その数、約1,000体！時を超えて絶海の孤島を守り続ける、謎多きモアイ像に会いに

**タヒチ
パペエテ**

常夏の楽園が魅せるドラマチックな光景。ゆったりと流れる島時間に身をゆだねて

**サモア
アピア**

持続可能な生活を営む、温かな人びととの出会いに。自然と伝統を守り継ぐ南洋の島



世界一周クルーズを、もっと面白く
オーバーランドツアー

世界遺産
スリランカめぐり
シーギリヤやボロンナワ、聖地キャンディなど、スリランカを代表する世界遺産観光へ。

複合遺産
メテオラ (ギリシャ)
奇岩群とキリスト教のあつい信仰心が融合して生まれた、幻想的な風景を堪能する旅へ。

世界遺産
マチュピチュ遺跡
ナスカの地上絵 (ペルー)
最も訪れたい場所として人気の空中都市マチュピチュ遺跡と、ナスカの地上絵の遊覧飛行へ。

自然遺産
ガラパゴス諸島 (エクアドル)
ユネスコの自然遺産第一号！「種の起源」の発想にたどり着いた進化の宇宙を体感する。

パシフィック・ワールド号でゆくピースポート地球一周の船旅
2027年8月 Voyage127

横浜発着109日間 2027.8.13(金) - 11.29(月)
神戸発着109日間 2027.8.14(土) - 11.30(火)

日程		寄港地	
8.13 金	出航 午後	横浜	
8.14 土	出航 午後	神戸	
8.18 水	入港 午前 出港 深夜	香港	
8.23 月	入港 朝 出港 深夜	シンガポール	
8.28 土	入港 朝 出港 夜	コロンボ	スリランカ
スエズ運河通航			
9.8 水	入港 午後	ポートサイド	エジプト
9.9 木	出港 深夜		
9.11 土	鑑泊 朝 発 夜	サントリーニ島	ギリシャ
9.12 日	入港 朝 出港 深夜	ピレウス	ギリシャ
9.14 火	入港 朝 出港 夜	イスタンブール	トルコ
9.17 金	入港 朝 出港 夜	バレッタ	マルタ
9.19 日	入港 朝	チビタベッキア	イタリア
9.20 月	出港 夜		
9.22 水	入港 朝 出港 朝	タラゴナ	スペイン
9.25 土	入港 朝 出港 夜	リスボン	ポルトガル
9.28 火	入港 午後	リバプール	英国
9.29 水	出港 夜		
9.30 木	入港 午前 出港 深夜	ベルファスト	英国
10.1 金	1回目のオーロラチャンス		
10.2 土	2回目のオーロラチャンス		
10.3 日	3回目のオーロラチャンス		
10.4 月	4回目のオーロラチャンス		
10.5 火	入港 朝 出港 夜	レイキャビク	アイスランド
5回目のオーロラチャンス			
10.12 火	入港 朝	ニューヨーク	米国
10.13 水	出港 深夜		
10.19 火	入港 午後	コロン	パナマ
10.20 木	出港 早朝		

パナマ運河通航			
10.24 日	入港 午前		
10.25 月	停泊	カヤオ	ペルー
10.26 火			
10.27 水	出港 深夜		
11.2 火	鑑泊 朝 発 夜	イースター島	チリ
11.11 木	入港 朝 出港 夜	パペエテ	タヒチ
11.12 金	出港 夜		
11.17 水	入港 午前 出港 夜	アピア	サモア
11.29 月	帰港 朝	横浜	
11.30 火	帰港 午後	神戸	

※訪問地や航路は、天候や海の状況による船長判断、その他の理由により変更場合があります。

多様なニーズに合わせて選べる船室の数々

プライベート空間でも海を身近に感じられる、海側に面した船室を豊富に備えたパシフィック・ワールド号。旅の目的に合わせ、自由にお選びいただける船室設定です。



ベアオーナーズスイート



ベアバルコニーⅠ



セミシングルアウトサイドⅠ



シングルスタンダードインサイドⅠ・Ⅱ



フレンドリースタンダードインサイドⅡ

ご確認事項

- 天候や現地事情の影響により、入出港日時の変更や抜港になる場合がございます。
- 本船が沖合に停泊し、テンダーポートなどを使用して上陸する寄港地では、気象条件によっては上陸できない場合がございます。
- この旅行は地球の遠隔地への航海であり、天災地変、政治状況の悪化、現地官憲の命令など、当社が関与し得ない事由が生じた場合、乗船客の安全を第一と考え、また航海の安全を考慮し、お客様に事前に、あるいは緊急の場合は変更後にお知らせし、旅行日程、旅行サービスの内容を変更する場合がございます。
- 航海日程は船長や船会社の判断によっても変更される場合があります。
- 上記のような不可抗力による変更の場合でも、払い戻しは一切ございませんので、予めご了承ください。
- 本パンフレット記載の寄港地に関する案内文および写真の一部は、オーバーランドツアー含むオプションツアー（有料）に参加された場合にお楽しみいただける内容を含んでおります。
- オーバーランドツアーは寄港地で一時下船して別の港で再合流するツアーです。
- 本パンフレットに掲載の写真は、お客様にピースポートクルーズのイメージをお伝えするものであり、過去に使用した別の客船で撮影された写真も含んでおります。また、季節に関わりなく全ての旅のイメージです。
- 横浜港乗船の方は神戸港にて、また神戸港乗船の方は横浜港にて一時下船ができません。
- ご自宅から集合・解散地等発着港までの交通費は含まれません。
- オーロラは自然現象のため、気象条件などにより観測いただけない場合がございます。
- イースター島では原則自由行動はできません。後日ご案内するオプションツアーにご参加ください。